

## ときわ病院 導入済み訓練機器のご紹介

関田会ときわ病院リハビリテーション科では、以下のような機器を用いて、訓練効果の増大を図っています。その一部をご紹介します。

歩行能力の再獲得に対して患者様に施術する、従来の立位歩行訓練・神経筋再疎通運動に加えて、電気刺激を加えたり、発症早期からの立位歩行姿勢を取っていただくことで、最大限の歩行能力を再獲得して頂けるように、最新の機器・知見をもって治療させて頂こうと、日々努力しています。

下肢装具・歩行補助具等も、各種取り揃え、患者様にすぐに試していただけるよう、物品を整備しました。

訓練室も増築し、入院患者様専用スペースとして450㎡となりました。従来の外来患者さま用スペースと合わせて、600㎡となり、言語聴覚室も、集団訓練用1部屋、個別訓練用2部屋を増築いたしました。

自宅での生活を想定して訓練ができるよう、一般家屋の台所・和室・風呂・便所・洗面所脱衣所・スロープ・階段等を備えました。

### 歩行神経筋電気刺激装置「ウォークエイド」

下垂足の治療機器で、傾斜センサーを用いて、刺激の入力をコントロールする電気刺激装置です。

外部スイッチを用いれば、セラピストの希望するタイミングで刺激することも可能です。

膝下に装着するため、靴が履けなくなるといった問題から解放されます。

総腓骨神経を刺激しますので、足関節の背屈・外反を同時に惹起することが出来ます。

前脛骨筋単独の刺激では不可能だった、足関節外反のコントロールが可能になっています。

